

市民の生活を支え地域の魅力を高める公共交通

概要

効率的でより利便性の高い公共交通の再構築を行うため、平成25年度に「府中市地域公共交通総合連携計画」を策定した。公共交通の利便性の向上を図ることで、周辺地域の住民も公共・公益施設が集中する中心市街地の住民と同様の日常生活サービスが享受できることを目的とする。

事業の内容

事業の内容

- ・バスロケーションシステムの開発(インターネットによるバスの乗換案内、遅延等の情報提供)
- ・ワンコインバスの運行(運賃の引き下げによる実証実験)

総事業費

11.3百万円

ポイント

- バスの運行状況をリアルタイムで確認することが可能となった。
- JR福塩線減便に伴う高齢者などの交通弱者の代替移動手段として、バス運賃をJR運賃並みに設定した、ワンコインバスを運行し、利便性を確保した。

事業の成果

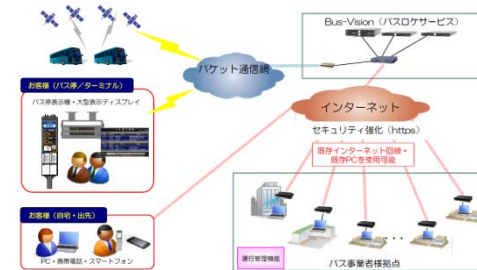
- ◆バスロケーションシステムの開発により、市内路線及び広域バス路線がインターネットを通して運行状況や乗換案内等をリアルタイムで確認できるようになった。
- ◆平成28年度開設予定の「道の駅」や「府中市民病院」バス停に当該システムを活用した電光表示付のバス停を設置する予定で、新たな交通結節点としての機能を併せ持つこととなる。
- ◆利用者減少の要因の一つとして高額な運賃体系が考えられる中、ワンコイン(500円)の運賃に設定したことでバス路線利用者が増え、他の市街地循環便等にも波及効果があった。

広島県府中市

- ・広島県東部内陸地に位置する人口42千人の小都市
- ・味噌、タンス、非鉄金属などのものづくりが盛んなまち



中山間地域と中心市街地を結ぶ路線バスのワンコインバス実証実験



バスロケーションシステムの概要図



バスロケーションシステム(スマートフォン仕様)